

令和5年度(2023年度)熊本市こどもの未来応援基金(スタートアップ・企画枠) 一覧

NO.	団体名	申請事業名	代表者	交付決定額	活動内容
スタートアップ枠(新規)					
1	子育て支援サークル・くまもと	子育て支援サークル・くまもと	藤吉 さやか	50,000	子育てに関する不安の中、孤独に子育てしているお母さんへ子どもとの正しい関わり方を伝えると共に、同じように悩んでいる子育て中の親同士のつながりを作る場の提供を目指す。
2	折尾 玲奈	ユニバーサル親子柔道教室	折尾 玲奈	50,000	親子で楽しく体を動かしながら、スキンシップとコミュニケーションを図り、親子で出来ることを認め合いながら体を動かす。様々な子育て世帯との交流の場を作ることを目的として活動を行う。
3	ベイベー・マミー・サロン	ベイベー・マミー・サロン	秀島 さわ	50,000	ママたちが気軽に集まれて息抜きができるサロンを立ち上げ。育児論や周りの意見に惑わされず、赤ちゃんとパパママの幸せな時間を大切に、我が子とのココロからの触れ合いが出来る場所を目指す。
企画枠					
1	熊本食育の会	はなまるクッキング	横山 久美子	100,000	「体は食べたものでできている」「食は命」この言葉の大切さを伝えるために、子育て中のお母さん方に子どもと一緒に参加しやすい形で食育料理会を開催。食の問題点や現状、食の大切さも伝えている。
2	Office38 Wind Bell	F-Rプロジェクト	森高 麻里	100,000	制服を新調することが難しいご家庭と、制服はあるが譲り手がないという方々を仲介し、制服リユースの拠点となることを目的とする。併せて、そこに集まる子どもたちの学習支援を実施する。
3	特定非営利活動法人教育支援プロジェクト・マスターズ熊本	親のスキルアップトレーニング2023	緒方 清美	100,000	子育て中の保護者の精神的負担や不安を少しでも解消するため、専門講師による講座やワークショップを行う。子どもと共に参加する野外活動や制作など親子のスキンシップを図る機会を設けるほか、父親としての子育てについて学ぶ機会を提供する。
4	白川小学校親児の会	「もやい」による子育て応援活動	塚本 法昌	100,000	学校や地域との「もやい」により子どもたちが「楽しく安心して遊べる」環境づくりを進めるとともに、イベント運営を通じて、新たな担い手確保に努める。
5	植木寺子屋山東塾運営委員会	植木寺子屋山東塾主催行事	大瀬 浩一	100,000	体験活動及び交流活動を行うことを通じて、児童の生きる力を育み、地域の伝統文化を継承し、郷土愛と感謝の気持ちを醸成し、世代間の交流と児童の健全な育成を図ることを目的とする。
6	ここサポ	みんなの居場所 うちらんち よかよか	下田 顕子	100,000	“地域の縁側”のような居場所を作り、様々な体験と幅広い年齢の人との交流を通して視野を広げ孤立を未然に防ぎ、大人も子どもも自分を肯定し、主体的に行動していく力を育むことを目的とする。
7	NPO法人子育て支援ワーカーズペペペらん	ママパパたちの子育て応援隊 「子育てをもっと楽しくしよう！」	高野 和佳子	100,000	乳幼児からの言語発達支援のために、聞く力を育み、社会性、協調性のある子どもの育成をサポートする。

令和5年度(2023年度)熊本市こどもの未来応援基金(スタートアップ・企画枠) 一覧

NO.	団体名	申請事業名	代表者	交付決定額	活動内容
8	Team 延壽院	地域コミュニティサポート寺子屋	濱田 義孝	100,000	困っている家庭に寄り添い、地域で子育てのフォローを行う。健康かつ安全に子どもを見守り、健全育成をサポートする。まずは「近所に寄り添える場や人がいること」を伝えることを目的に活動する。
9	NPO 法人せいしとらんし熊本	親子で楽しく知ろう！正しい性器の洗い方 ・正しいトイレマナー	中村 和可子	100,000	全ての人に正しい性の知識を届け、性犯罪の予防啓発を行う。性教育学習、性教育教材の開発作成、性に関する情報提供、性教育講師養成を行う。
10	ひごPecsサークル	ひごPecsサークル	大塚 志津子	49,110	社会性を学ぶためのツールである絵カードPecsを用いた学習法についての勉強会を開催し、コミュニケーションが苦手な子どもたちを支援するスキルを身につけていく。
11	たけみやいもほりファミリー会	親子で楽しくイモ掘り会	八谷 斉	50,000	春のジャガイモ掘り、秋のからいも掘りを地域に住む親子で仲良く楽しく行い、交流を深める。日頃から交流を深めることで、非常時の共助がスムーズに行えることを目指す。
12	山東小学校PTA	楽しく学ぶ災害への備え ～子ども×地域コミュニティ×防災～	上野 純二	100,000	子ども達へ防災について楽しく考える機会の提供。子どもを通して各家庭の防災意識を向上させ、もって地域全体の防災力の強化を図る。
13	植木寺子屋 田底塾	植木寺子屋田底塾事業	前田 正男	100,000	人口減少・少子高齢化が著しく、地域コミュニティの衰退が危惧されている中、夢を乗せたランタンを飛ばすことで故郷での思い出作りや、世代間交流を図り、地域の児童の健全育成を推進する。
14	保育者の子育て塾	保育者の子育て塾	百合本 佳乃	100,000	元保育者が【子育て塾】と称して、おおらかな気持ちで子育てできる親を育てる【親育て塾】を開催。コロナ禍で寂しさや不安を感じている親に子どもとの遊び方を伝授すると同時に、育児支援の居場所づくりを行う。
15	NPO法人 こころサポート熊本	NPO法人 こころサポート熊本	安徳 寿賀子	100,000	孤独に子育てに苦慮しているお母さんへ子どもとの好ましい関わり方を伝えると共に、同じように悩んでいる子育て中の親同士の繋がり場の提供。公認心理師がリーダーとなり指導することで、親子の心に寄り添った支援を行う。

令和5年度(2023年度)熊本市こどもの未来応援基金(こども食堂枠)一覧

NO.	団体名	申請事業名(食堂名)	代表者	交付決定額	活動内容
こども食堂(開設枠・運営補助枠)					
1	一般社団法人多世代交流スペースミモザ	ミモザ	長谷川 佳代子	200,000	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの孤食や孤立防止のために、食育の観点に配慮し、栄養バランスの取れた食事を提供する。 ・子どもたちに放課後や長期休暇中の学習の場を提供し、宿題など勉学の手助けを行うことで、学習支援を行う。 ・子どもたちの集いの場としての活動の他に、学生などの若い世代から高齢者まで居場所を提供し、世代間の交流をはかる。 ・小学校高学年、中学生を対象に、希望者には基本的な調理方法を教え、食の面での自立をはかる。 ・無料法律相談会などを開催し、保護者が抱える問題解決の一助とする。
2	食の駅 のぐち	食の駅 のぐち	鷹枝 洋子	200,000	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の提供 ・食育活動 ・悩み事相談 ・学習支援
3	特定非営利活動法人 地域アフタースクールKANAERU	KANAERU食堂	河野 孝明	200,000	家庭環境等により満足に食事ができない子、保護者の帰りが遅くいつも食事を一人で食べている子、家庭や学校に居場所がない子などに対し無料で食事を提供することで、お腹を満たすだけでなく食事の時間や会話を楽しんでもらい、安心してくつろげる場所があることや頼れる大人がいることを知ってもらう。
4	白山校区社会福祉協議会	白山こども食堂	飯干 哲哉	100,000	子どもたちの孤食や孤立防止のために、食育の観点に配慮し、栄養のバランスの取れた食事を提供する。また、子ども達に、積極的に調理に参加してもらい、生活力の向上を図る。生活困窮家庭への支援を行う。
こども食堂(拡充枠・運営補助枠)					
1	子どもが生きられる世界	子どもが生きられる世界(ゆりりん食堂)	百合本 泰朗	120,000	自分の心とカラダをつくる【食】への感謝、日本古来の躰の素晴らしさ、添加物等をなるべく取り入れない食習慣を伝えて、地球環境にも目を向けられる意識づくりを育む。また、子ども食堂での関わりを通じて、自発的に思いあえる関係づくり、支え合う場があることを楽しみながら、大人も子どもも、自分の価値に気づき自己肯定感を高め非認知能力を育み【子どもが生きられる世界】をつくることを目的とする。 拡充枠として子どもクッキング・マネー教室等を実施する。
こども食堂(運営補助枠)					
1	桜木東食堂 陽だまり	桜木東食堂 陽だまり	福本 廣人	50,000	子ども達・高齢者の孤食、孤立を防ぐために、食育に配慮し、栄養バランスの取れた食事を提供する。又、食事提供の前後に、世代間交流、悩みごと相談支援、学習支援、生活力の向上を図ります。桜木東校区の自治会、各団体・小中学校との交流促進等コミュニケーションを執る。

令和5年度(2023年度)熊本市こどもの未来応援基金(こども食堂枠)一覧

NO.	団体名	申請事業名(食堂名)	代表者	交付決定額	活動内容
2	認定NPO法人ポピンズくまもと	ぽびカフェ	内田 良介	150,000	偏食や孤食が多いと思われる子どもたちや、一人暮らしでなかなか手作りの食事を取りづらと思われる方々が多いため、栄養バランスに留意し、さらには季節感を感じられる旬の食材を利用し、バランスのとれた食事を提供する。子どもたち自身で簡単に作ることができるデザートづくりをワークとして行うことで、料理を身近に感じ、旬の食材を楽しむ食育を行う。制作活動や体験型ワークを取り入れ、経験を積み重ねることで自信をつけ、自己肯定感の向上に繋げる。経済困窮の家庭支援として、みんなが支給を受けられるよう、農家や地元老人会にご協力いただき、野菜等を配布できる支援体制を構築する。併せて、不登校で引きこもっている子供たちへの支援も行っていく。
3	きずな	きずな	成松 美恵子	150,000	食の大切さと感謝、人との関わりや自分の価値、感謝される事により自己肯定力を高めて行くことを目的とし、食育と健康増進活動・多世代交流・生活力の向上を図る。学習支援・保護者への子育てについてのアドバイスや悩み事の相談又は行政に繋ぐ支援を行う。 ・物資配布 ・たのしい英語・食育・ゲーム・工作 ・食事提供または弁当の配布等
4	NPO法人くまもと相談所	子ども食堂「だんらん」	山口 守和	70,000	虐待や保護者の病気、困窮等、様々な環境の中で生活をしている子どもたちに食事を介して「団らんの場」を過ごしてもらうことで、「自分の周りにはこんな大人もいるんだ、人と関わることは楽しいんだ、会話を楽しみながら食事をすることもできるんだ。」等、言葉では表現できないような気持ち・感覚を少しでも感じてもらうこと。その気持ち・感覚が今後、誰でも経験するであろう「悲しい事や辛い・苦しい事」を乗り越えることができるような「生きる力」となることを目的としている。 令和5年度はコロナ等感染対策を十分にを行いながら「自宅でも育てることができる野菜の植え」「配食」「生活困窮家庭への支援」を実施する。
5	Yellつながるカフェ	Yellつながるカフェ	高井 眞弓	70,000	季節に合わせた食材やメニューによる食事を参加者も一緒に作ることで「食育」「伝統食の伝承」などに取り組む。その中には「味噌玉作り」「子どもでも作れる防災食」「自分で作ろう！おにぎらず」などのワークショップを取り入れ、自分たちが作る楽しみを味わう食育を進める。また、コロナの感染状況によって会食ができないとき用に、手作りおもちゃキットを作製し、自宅で集中して作ったり遊んだりする時間を作れるようにする。できる限りの感染対策を行い、体験型の昼食提供を中心としていく予定。場を共有することで信頼関係の構築・参加者の横のつながりづくりを目指す。
6	熊本市西区中島校区こども食堂まんまる	こども食堂まんまる	古川 久仁子	50,000	・感染防止対策の目的からコロナ収束までは会食を行わず、お弁当配布の形をとることとする。 ・子どもと一人暮らしの高齢者の孤食を防止し栄養バランスの良い食事を提供する ・民生委員が各町内で毎月一人暮らしの高齢者にお弁当のニーズを聞き、当日は民生委員さんとボランティアスタッフが一緒にお弁当を配達する。 ・こども食堂の場が「安心な居場所」として浸透していくことで子ども達の悩みや困りごとを聞ける場所にし、家庭の問題に関しては必要に応じて福祉に結びつけられるようにしていく コロナ収束後には地域住民が交流し学ぶ機会として、食育、防災、子どもの発達に関する勉強会やイベント、また学習サポート等を行っていく。

令和5年度(2023年度)熊本市こどもの未来応援基金(こども食堂)一覧

NO.	団体名	申請事業名(食堂名)	代表者	交付決定額	活動内容
7	尾ノ上コミュニティ食堂「陽だまりの樹」	尾ノ上コミュニティ食堂「陽だまりの樹」	堤 雅	150,000	主に小学校の給食がない日や土曜日の昼食の提供。農家さんからいただいた野菜やフードバンクからの食材などのフードパントリーを実施。 月に1~2度を目安に、土曜日に開催する月もある。運動会などの平日代休や給食のない午前中下校がある日は必ず開催。旬の食材を使い、季節食なども取り入れる。給食のない日の昼食の提供を行うことにより、働く母親の負担軽減を図る。 ひとり親家庭への応援セットなどの支援。尾ノ上校区を中心とした子どもや保護者、高齢者の方を対象としたコミュニティ食堂の開催。子育てがひと段落した方々や、独居の高齢者の方とのふれあいの場を作り、孤食を減らし、食に関心を持ってもらうためのイベントや取り組みを実施する。夏祭りや地区運動会などに出席し、活動の広報や地域との関わりを深める。
8	みんなの食堂	みんなの食堂	齋藤 直世	70,000	食べることの大切さや食事に対する感謝も伝えていく。また、料理を作る事に興味をもってもらい、自分で料理をする喜びや、作った物を家族が食べてくれることによって生まれる達成感を味わうことにより、自己肯定力が生まれ、自分を愛し、他者も愛せる心の軸を持つ子どもを増やしたい。食育活動・多世代交流、コロナと共に生きる時代において、共助を必要としていらっしゃる方に繋ぐことを意識して活動を行う。
9	縁側サロン竹ちゃんち	子ども、地域食堂おうち食堂竹ちゃんち 地域コミュニティ食堂母さんの台所	竹下 紀子	150,000	・自宅にて第4水曜日 10:00 ~14:00 (食事の提供 11:30 ~ 14:00)開催。 若いお母さんたちがボランティアさんと一緒にご飯作りをしたり、ワークショップを楽しむ時間を提供。小さな子どもが多いため、異年齢が集まる大家族のような賑やかな食事の場の提供を目指す。(コロナ禍においては、人数制限により会食を行う。) ・コロナ感染拡大状況により弁当配布(不定期) ・フードパントリー ・親子クッキング企画開催 ・月に2~3回、不定期に「お母さん応援総菜の日」を設け、総菜2~3種を無料配布。 ・令和3年12月より西区2拠点において第1・3水曜日 10 :00 ~14 :00 。昼食の提供、子育てママたちの居場所、地域高齢者支援にて解放。 ・第1・3土曜日16 :00 ~19 :30 。夕食の提供、会食、弁当配布、働くママたちの支援、子どもの居場所、学習支援、地域住民・高齢者支援を実施。
10	ouchi食堂	ouchi食堂	西館 枝里	50,000	・「食育活動」食と文化の継承、おもちつき等、子ども達に本物を知ってもらう食の体験が経験となること、食を通し地域住民の交流の場や居場所を提供 ・「生活困窮者/高齢者も含む支援」フードロス、寄贈の食材を地域の専門機関の方々と連携をし、循環活用する ・「障がい者支援」地域の障がい福祉施設の方々にもボランティア参加をお願いして社会参加できるようサポートする ・「隣接地域との交流」幾つかの拠点を会場とし、分散開催をすることで、少しでも多くの地域住民の方々に楽しみが巡るよう考慮する
11	楡木子ども地域食堂なごみ	楡木子ども地域食堂なごみ	渡邊 和代	150,000	・食事の提供(コロナの状況により弁当配布に変更の場合あり) ・食育の実施 ・食農教育(バケツ稲づくり) ・自営農場での農業体験(野菜) ・体験型教室により地域交流、顔見知り活動を行う。 ・学習支援(スポーツ・芸術・グローバルな学びの支援) ・防災フェスタ、グリーンフェスタの開催 ・防災体験や防災食づくり、ローリングストックでの備え学習 ・音楽のワークショップ ・落語のワークショップ

令和5年度(2023年度)熊本市こどもの未来応援基金(こども食堂枠)一覧

NO.	団体名	申請事業名(食堂名)	代表者	交付決定額	活動内容
12	NPO法人熊本YWCA	熊本YWCA なかよしクラブ	江崎 啓子	150,000	毎週土曜日10時から12時半までを開催時間とし、前半は学校の宿題や同等のワークシートを利用した学習の時間とする。ひらがなやカタカナなどがうまく書けない子どもの場合は、文字の学習支援を優先実施する。 後半は、友達やボランティアと一緒に食事をする。また、フードドネーションや寄付品などの配布も行う。そのほか、家族のニーズに気がついた場合は、できるだけ早めに他団体や専門機関につなぐ(早期発見を目指す)
13	おひさま子ども食堂	おひさま子ども食堂	近藤 秋穂	100,000	・食事の提供 ・食材を始めとする物資の提供 ・クリスマス、夏祭り等の季節の催し ・子供服、おもちゃ等のリユース会
14	託麻南校区社会福祉協議会	託南みなみな広場	藤本 律子	50,000	①偶数月に「地域食堂:託南みなみな広場」を開催する ②校区の他の組織と連携し、活動する ③各町内のお住いの全員の皆様に「何か」を町内と連携して活動する
15	NPO法人寺子屋カフェくまもと	こども食堂「寺子屋カフェ」	佐藤 篤子	150,000	・相談窓口の常設 ・伴走型支援士の養成 ・宵カフェ(会食)の実施 ・支援物資の配布 ・子どもの体験学習の実施 ・ヤングケアラー&ネグレクトの子ども支援 ・DV 被害者等リスタート支援